

港北区民生委員児童委員協議会広報紙

第29号



ほほえみ

発行 横浜市港北区民生委員協議会
児童委員
横浜市港北区大豆戸町26-1
電話 045(540)2339
FAX 045(540)2368
発行責任者 会長 宮田 光明

こんにちは民生委員・児童委員です

小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の「つなぎ役」

子どもの事で

赤ちゃん会や子育てサロンなどにかかわっています。また子育て不安や、いじめ、登校拒否、児童虐待など気軽にご相談ください。



障害のある方へ

お困りのこと、援助を必要とすることはありますか。地域の支援を行政と連携して行っています。

高齢者の方へ

ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方、介護保険サービスを受けたいと考えている方、心配事や相談事、なんでも結構です。気軽にご相談ください。



その他

母子福祉や配偶者からの暴力(DV)など、困ったことがあれば、深刻な状況になる前にまずご連絡ください。

生活に困った時

困窮の実情に応じ、生活福祉資金などの公的貸付制度や生活保護についてご案内します。



民生委員・児童委員は
守秘義務が課せられています。
プライバシーは守ります。

民生委員・児童委員は相談に応じ、
地域の関係機関等とのつなぎ役になります。
わたしたちに気軽に声をかけてください。

地区からの紹介

※令和3年2月に寄稿いただいた内容となっております。

コロナ禍の敬老祝い品配布活動

日吉地区 池田 妙子

自治会による敬老祝い品(お茶)の配布の依頼が私たち民生委員・児童委員に来ました。

回覧により希望者がおよそ700件。9人の民生委員・児童委員で配布します。多い人で100件も配ることになります。



例年通り訪問して、お顔を見て、お声かけし、安否確認をするやり方では新型コロナウイルスがまん延する中、安心して受け取っていただけないと感じました。「感染しない、させない」ためにはほど

のようにすれば良いか検討した結果、今回はやむを得ずポストに入れてさせていただくことにしました。ただポストに入れるだけ



だけでは事情が分からないのではと、お手紙を添えてはどうかと意見がでました。それと雨のことも配慮したいと考えました。お届けする皆さんにご理解いただき、喜んでいただけるとの思いで実施することになりました。

敬老の日の頃はまだまだ残暑が厳しく、配布する作業は結構大変でした。熱中症対策をし、なおかつ新型コロナウイルス対策をするという今回の取り組みで安全に配布活動を終了することができたと思います。

次回には新型コロナウイルスが収束され、元の形に戻ることを切に希望しています。

コロナ禍でのささやかな活動

下田地区 鈴木 君子

令和2年1月、日吉地区社会福祉協議会主催による、福祉実践活動報告会「光と活力」に参加しました。当地区では、災害時に備え、地域で共有できるものとして「災害時要援護者カード」に基づく要援護者宅や災害時の危険箇所を落とし込んだ巨大マップを提示して、その取り組みを発表しました。

しかし、その発表直後より皮肉にも光と活力に満ちあふれる活動を削が



れるコロナ禍に会い現在に至っています。評判のよかった「下田ふれあい食堂」

「一人暮らし食事会」下田地域ケアプラザや活動ホームしもだへのボランティア活動、その他諸々。

その様な状況下にあっても月1回の民生委員・児童委員の定例会では、手作りマスクを担当の一人暮らしの方にお届けする案を実行、品薄状態の時のタイムリーな取り組みでした。その他、簡単な体操の手ほどきの図解パンフレットを作成して毎月お届けしています。微力ながらも心のつながりだけは保つべく腐心の日々が続いています。

ほっとひととき

大豆戸地区 國丸 香織

主任児童委員1年目で、右も左も分からず、更に新型コロナウイルス騒動の一年でした。大豆戸地区では、毎月第1火曜日に大豆戸地域ケアプラザで、未就園児とパパ・ママの交流や仲間づくりのためのサロン『まめのきひろば』を開いています。

コロナ禍で縮小されながらも、12月にはクリスマスコンサートを開催しました。



いろいろな楽器の演奏や映像でのクリスマスソングが流れ始めると、リズムに合わせ無邪気に体を動かす子どもたち、うとうとお昼寝タイムに入ってしまう赤ちゃん、その側で目を輝かせ微笑むママたちの姿、コーラスグループ『フルール』さんの優しい歌声とメロディにほっと心が癒され、緊迫した毎日から少し解放されたひとときでした。素敵な時間をありがとうございました。

これからもパパ・ママたちに寄り添った活動を続けたいと思います。

パパ・ママ、そして子どもたちも、みんな笑顔で過ごせる日が、早く戻って来ますように。

「すてきもろおか」で情報発信！

師岡地区 福井 智子

新型コロナウイルスの影響で、師岡地区民生委員・児童委員が関わっている行事はほぼ中止になり、日頃の訪問活動もポスティングに切り替わり、対面で会話をする機会がなくなりました。そこで私たちは情報をいち早くお伝えするため、独自のホームページ「すてきもろおか」を立ち上げました。「民生委員・児童委員って何してるの?」と思っている方も多いと思います。ここでは委員の紹介、仕事内容、活動の報告等、分かりやすく投稿しています。



7月にはしばらく休止していた「いきいき体操」が再開。感染対策として密を避け、グループを2つに分け、換気・消毒・健康管理を徹底しました。「すてきもろおか」では参加の皆さんの元気な姿を公開しています。また、「赤ちゃん会」や「こども学習会」で頑張っている子どもたちの様子もご覧いただけます。是非一度のぞいてみてください。今後も皆さんに長く楽しく利用していただくため、趣向を凝らしホームページ運営を頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



新型コロナ・自粛下のクリスマス会

篠原北地区 山本 善憲

2020年はコロナ禍で、年初から1,2,3歳児の会をはじめとする各種活動が中止に追い込まれました。しかし、秋になりコロナ禍の影響が弱まったかに見えた11月と12月に参加人数を10組にしぼって1,2,3歳児の会を再開することができました。

12月はクリスマスコンサートです。例年なら演奏に合わせてみんなで歌を歌うのですが、今回は様変わり。ピアノなどの楽器の演奏は例年通りで



すが、大きな声を出すことができません。「歌」の部分は、事前に演奏者が録画しておき、楽器演奏に合わせてビデオ再生するという工夫が必要でした。それでも、例年どおりにサンタさんがプレゼントを配って回ることができました。

しかし、年末から新年にかけて感染者数が急上昇したので、再び緊急事態宣言がなされ、各種活動が自粛を余儀なくされています。

児童の福祉活動には対話とふれあいが欠かせません。「3密」を避けるというコロナ対策とは相容れません。今後、さらなる工夫が必要なようです。

しのはランドと私と子どもたち

篠原南地区 八田 みき

主任児童委員として活動を始めてから7年目を迎えました。最初は何もかもが分からないことだらけでしたが、周りの方々のフォローにより、ありがたいことに現在も活動できています。活動しているうちに、誰かの役に立っているのか、誰かに必要とされているのかを考えるよりも、自分が無理なく楽しく活動できているの方がより大切だということに気がきました。

毎月1度、篠原・篠原南両地区の主任児童委員を中心に、公園遊び「しのはランド」を開催しています。未就園児の親子の皆さんと一



緒に菊名池公園で楽しく遊んでいます。

しかし、昨年の緊急事態宣言で半年ほど活動が中止となりました。その間、感染防止策をメンバーでいろいろと考えました。不安材料は多かったのですが、お手伝いして下さるスタッフの方々の大いなる力を借り、無事に開催できました。感謝しかありません。

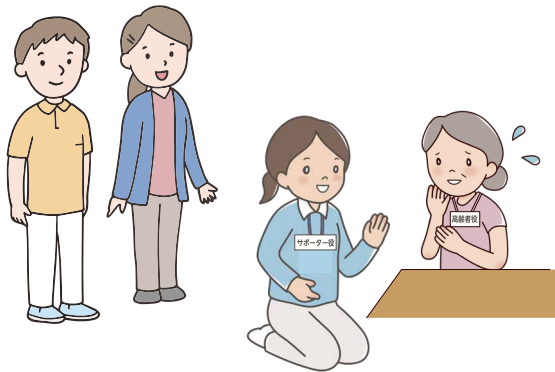
そして、子どもたちのキラキラの笑顔を見て、「しのはランド」の再開を待っていたのは子どもたちではなく自分だったということに気がきました。

全員認知症サポーターになる

新吉田地区 荒巻 喜代子

地域の認知症キャラバンメイトの活動を発展させて、昨年、新吉田地区民生委員・児童委員は全員が認知症サポーターになることを目指し、新吉田地域ケアプラザの指導のもと研修会を開催しました。

「企画からやってみてください。」との指導に戸惑いながら、保健師の講義とともに26名を5班にわけてロールプレイを実施しました。企画、題材、配役、出演、全民生委員・児童委員参加型です。当初の想定より、内容も充実、迫力のある演技に楽しい研修会になりました。



今年は新たに8名の新任民生委員・児童委員を加え、改めて2回目の全員認知症サポーター養成講座を企画しました。今回は横浜労災病院認知症サポ-



ーターチームの看護師による市民出張講座を依頼できることになりました。コロナで認知症のリスクが増す中、専門家に学べることは大変幸運です。

認知症は病気です。加齢による物忘れとは異なり特徴もあり、原因も、対応もあります。認知症となってもできることもあり、解る心もあるのです。

外出自粛など、がまん時代に、民生委員・児童委員の豊かな経験と知識と思いやりの心は、私たちの力です。

あっという間の45回の開催です!

高田地区 三澤 美恵子

「せっかく近くに、町会の研修所があるんだから、そこで皆で集まって、楽しい時間が送れるような会を作ってほしいわ〜」といった、ご近所の諸先輩の声を再三いただいていたので「居場所 華の会」といういわゆる居場所を始めることになりました。

まずは町会長さんのご理解をいただき、高田天満宮の隣の「高田研修所」を毎月1回、お借りでき、



更に元町会の理事さんや、ボランティアさんのご協力もあり、開催回数は45回となりました。「朗読会」「簡単に体を動かすこと」「ウクレレ講習会」、学習会として「依存症について」等も行ってきました。

昨年からのコロナ禍の中でも、3密対策・消毒・換気・検温等を行いながら、ゆったりとした「癒されるひと時」を送っていました。現在は、「緊急事態宣言」の下で、研修所は閉鎖されていますが、「居場所 華の会」は、私にとっても、皆さんとお会いできる大切な場所だったのだという、思いを新たにしています。早く、再開が出来ることを、待ち望んでいます。



ほほえみ編集委員が 取材に行ってきました！

新横浜

新横浜地区誕生



新横浜地区は、大豆戸地区から独立する形で、令和元年12月に設立されました。現在13名で活動しています。

設立のきっかけは、2つの地区の人口の増加や住宅の形態(ほとんどがマンションで戸建は1軒のみ)が違ふこと。独立したことで地元の方が地域の活動に参加しやすくなったそうです。

高齢者支援「サロンこもれび」や子育て支援「サロンかもねくらぶ」が主な活動ですが、コロナ禍で思うように活動ができません。活動を行うにあたっては、町内会便りでお知らせしたり、係の人数を少なくしたり、戸外での活動も始めたりして、参加者が安心して参加できるように工夫しながら活動しています。コロナ禍で始めたラジオ体操では、シニアクラブにも声をかけて大勢の方に参加してもらっています。

最後に、会長の新福さんから「コロナが収束するまで安全第一に活動し、地域の課題にも取り組みながら地域の方々に活動を広めていきたい」というお言葉をいただき、終了しました。



新横浜地区キャラクター
かもねくん

綱島東

新1年生の安全安心を願う下校見守り活動

綱島東地区民生委員児童委員協議会では4月7日～9日の3日間、新1年生の下校の見守り活動を行っているというので取材に行きました。この活動は始めてから3年とまだ新しい活動で、きっかけは新駅の開発などにより、綱島東地区の大型車両の通行が多くなったことで、綱島東小学校の子どもたちの通学に対する意識が高まったからだそうです。

初めは保護者のお迎えもあるそうですが、慣れた道のせいか、白線をはみ出したりする場面に遭遇すると、地区のみなさんは「白線をはみ出さないで歩きましょう!」「路上駐車を避けるときは車に気をつけてね!」等さまざまな声かけをしながら、保護者の皆さんと共にルールを再確認し、笑顔で見送っていました。安心安全な登下校を心から願っています。

また、昨年からは綱島東4丁目が新しく開校した



箕輪小学校区になったこともあり、箕輪小学校への横断を見守る町会の方々と一緒に、上記の期間下校の見守り活動も行っています。こちらも車が多く通る道を使うので、町会の見守り体制との連携は素晴らしかったです。これからもこの良い関係が続くことを願っています。

特集

コロナ禍での「親子の集いの場」

区内には、親子で楽しく交流できる、主任児童委員主催の「親子の集いの場」があります。コロナ禍での開催について各地区の主任児童委員からアンケートをとり、実施の様子を調べてみました。

【アンケートより】 令和3年2月実施

休止している会もありましたが、全体の3分の2は感染防止対策をしながら開催していました。実施の際に、気を付けていることを以下に示します。

- ・参加者が十分な間隔を取れるよう配慮する。(予約制、人数制限をしている会あり)
- ・おもちゃは消毒し、歌を歌う時は小さな声で。遊びの内容も密や接触がないものにする。
- ・赤ちゃんを連れていらっしゃる方のお手伝いをする際は、スタッフが赤ちゃんに触れてもよいか保護者の方にお伺いする。

※このほかにも各会ではさまざまな工夫をしています。

私たち主任児童委員は、子ども連れで安心して出かけることが難しい現在、求める方がいらっしゃるなら、参加された方が安心して過ごし、笑顔で帰っていただけるような場を提供したいと考えています。



特集

新任民生委員・児童委員に聞いてみた!

民生委員・児童委員(以下、民生委員という)は12月から始まり任期は3年間で委嘱されます。今期は令和元年にスタートしました。

早々からコロナ禍で先輩委員でさえも戸惑う制限の中での活動開始です。

新任委員は訪問時のファーストコンタクトの取り方や高齢者との会話力を高める研修、緊急時対応例等の事例研修や実際の活動に即したロールプレイングで具体的なやり取りを勉強したいとの希望をもっています。一方で実践を通してもっと地域の皆さんとのつながりを持ちたいと考えています。

民生委員の役割は緊急時や困ったことがあった時に地域の関係機関につなぐことです。民生委員になり今まで関わることのなかった包括支援セン

ターや区役所の関連部署とのつながりを理解していきます。

「先輩委員に聞いてみる」というテーマを通して「現状をシェアし先輩方のアドバイスをもっと聞きたかった」という意見をだしていただきました。実践的な体験ができない中工夫をして色々な事を吸収しポストコロナの活動に活かしていきたいものです。



主任児童委員より

「今できることは何か」

コロナ禍により2回目の緊急事態宣言中です。区内44名の主任児童委員の活動は、この1年間試行錯誤の連続でした。今までは子育て中の親子に直接関わり、小中学校の先生方と情報交換を重ね、地域のイベントに参加するなど、さまざまな方々との交流を活かして活動を進めていたのです。コロナ禍の中、多くの活動が制限されました。

しかし、できることは何かを考えてみる貴重な機会でもありました。誰もがマスクをし、表情をうかがうことも直接会話をかわすことも困難な中で、小さな変化も見逃さずにキャッチできるアンテナを磨くことが特に必要でないか感じました。外出制限により家庭内で虐待やネグレクトなどの不幸な事例が増加しないことを心か

主任児童委員 川原 裕美子
ら願い、気づいた事例を関係機関へ速やかに繋いでいきたいと思います。

今まで意識することもなかった「普通の生活」が、いかに恵まれていて大切であったのかに気付きました。どのような状況にあっても「今」はその時だけ。だから、「今できること」を大事にしていきたいと思います。
(令和3年2月寄稿)



災害への備えは大丈夫ですか？



2011(平成23)年3月11日東日本大震災が発生して10年が経ちました。日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。

さて「災害への備え」の1つに「ローリングストック」という考えがありますがご存知ですか。

普段から少し多めに食料品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックと言います。消費した分の補充は忘れずに行いましょう。



民生委員・児童委員について

民生委員・児童委員は、住民の皆様と関係機関とのつなぎ役としてまちの福祉のために活動しています。港北区役所福祉保健課運営企画係で地域の民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介しています。ご相談の内容によっては、他の専門機関を紹介します。

港北区役所福祉保健課運営企画係 電話 540-2339 FAX 540-2368

編集後記

今回は新型コロナウイルスの感染が続く中、地区の取材活動を行いました。また主任児童委員の皆さんには、コロナ禍における活動についてアンケートをお願いしました。ご協力いただきました地区の皆さんに感謝すると共に、コロナ禍でも工夫して活動されている様子を知ることができました。(Y.S)

編集委員 (◎委員長 ◇顧問)

◎進藤 康夫(城郷地区) ◇永野 和子(大豆戸地区)
樋渡 紀子(日吉本町地区)、勝又 禎子(下田地区)
大星 洋美(綱島東地区)、中村 登代子(大豆戸地区)
木村 典子(篠原地区)、
長澤 はま子(新吉田あすなろ地区)、
高橋 真由美(主任児童委員・菊名地区)